メディカルガイド発刊に寄せて

苫小牧薬剤師会　会長　寺口　元

苫小牧薬剤師会は230名程の会員が所属し、調剤、医薬品の供給のみならず公衆衛生の向上及び健康増進に至るまで市民生活のサポートをさせて頂いております。

私達薬剤師は、地域住民の安心・安全を最優先とし調剤・医薬品の供給はもとより、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることが出来るよう医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の理念に基づく地域社会づくりに全力をあげて貢献しております。

この社会的理念の実現に向けた取り組みとして左記の通り職能を全うする努力をしております。

①かかりつけ薬剤師・薬局の普及・推進
②健康サポート薬局の普及・推進
③医療保険制度堅持の為への取り組み
④薬学教育への対応
⑤薬剤師のための生涯教育推進
⑥薬剤イベントモニタリングの実施
⑦アンチ・ドーピング活動の普及と
　スポーツファーマシストの養成
⑧地域医療における医療連携の強化と充実
⑨学校薬剤師活動の支援推進
⑩医療安全管理体制の整備・充実
⑪夜間・休日急病センターへの協力
⑫広域病院における処方箋FAXコーナーの運営
⑬災害備蓄医薬品の管理
⑭薬物乱用防止・野生大麻調査除去への協力

私達には当然馴染み深い項目ですが、一般の皆様が私達薬剤師と接する機会が多い事柄についていくつか解説させて頂きます。

かかりつけ薬剤師・薬局の普及と健康サポート薬局について

「かかりつけ薬剤師・薬局」は処方箋調剤を受けられる患者さん、在宅療養中の患者さんのサポートはもちろんのこと、市販薬に関するアドバイスや健康相談なども積極的に行っておりますが、「地域包括ケアシステム」を実践する上で薬局の機能を「門前」から「かかりつけ」そして他職種との「地域連携」を可能とする健康サポート薬局の普及に努める事で健康増進の核となる薬局育成を目指しているところです。

また、皆さまに広く認知を頂けるように成りました「おくすり手帳」は自身の薬剤履歴管理の他、重複や相互作用による薬の飲み合わせや副作用防止にも役立っておりますが、薬の情報管理のみならず医療機関と介護者との連携ツールとしての活用も始まっています。並行してスマートフォンやタブレット端末で管理する電子おくすり手帳の普及にも取り組んでおります。

医療保険制度への取り組みについて

理念実現の為には財源維持も不可欠です。我が国には、世界に冠たる国民皆保険制度がありますが人口の高齢化や医療の高度化などにより、医療保険財政の健全化が喫緊の課題となっています。私達薬剤師がジェネリック医薬品の提案や残薬確認等に積極的に取り組むことで医薬品の適正使用や薬剤費の削減に繋がり財源維持に少なからず貢献出来るとも思っております。残薬を簡単に廃棄する事無く最寄りの薬局でご相談頂き、飲み残した原因や管理方法を見直して場合によっては一包化等の調剤支援を受けられる事で薬物療法向上の一助となれば幸いと感じます。

薬物乱用防止啓発活動について

近年増加する薬物乱用に対しては憤りを覚えますが、正しい知識の啓蒙が防止の根底だと信じております。私達の専門的知識を生かして社会からの危険薬物の根絶や健康維持に寄与して行きたいと思います。